

##見出し

第114回定例会を開く

6～7月に欧州羊毛業界を視察

##本文

ハイクオリティーの羊毛ふとんを追求しているベストウールクラブ（略称=BWC、野村利泰会長・正会員7社、賛助会員3社）は、4月12日、東京・中央区八重洲の日本ふとん製造協同組合（略称=JFMA）会議室で、「第114回定例会」を開催しました。

定例会では、①第113回レビュー（議事報告）②羊毛の臭いに関する基準作成③12年海外研修旅行④会則変更などについて審議しました。

特に、「羊毛の臭いに関する基準作成」については、オブザーバーとして、AWI日本支社・井上俊哉支社長と同一宮オフィス・市村恒マネージャーが出席。AWIとの連携によって、「羊毛（ウール）の臭いに関する基準作成（ルール作り）」に向けて、“1回目の意見交換会”となったものです。

席上、「高い清浄度=臭わない」ということが独り歩きし、誤解を生んでいる。BWC、AWI、公的検査機関との連携強化で、良い物から悪い物まで、サンプリングをし、実態を把握することからスタートしたい。そして、“残脂率・清浄度・官能テスト”を中心とした品質基準の作成を目指していく」ことで一致しました。

また、AWIのオフィシャル・ウェブサイトにも、6月をめどに、BWCの概要や活動を紹介するページが掲載されることが明らかになり、井上支社長から、HPデザインの提案がありました。

次に、12年海外研修旅行について、6月30日～7月7日、スペイン・マドリッドの羊毛洗淨工場とベルギー・ブリュッセルの羊毛洗化炭工場の視察とパリのフランス羊毛協会を訪問する、6泊8日の日程で実施することになりました。この研修で、欧州羊毛業界のホットな情報をお届けしたいと考えております。

会則変更については、従来の「スチームドライ設備を導入したメーカーを以って組織する」から『本会メンバーとして10年以上在籍した会社はこの限りではない』などが追加され、会員の確保と増強を目指していきます。